

しばはら ひろし

柴原 弘志

現代社会学部 教授
 教育学士／京都大学
 教職課程教育センター長

ホームページ URL
 なし

主な研究業績

- 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程調査官（道徳・公民科）（平成13年4月～平成18年3月）
- 中央教育審議会教育課程部会道徳教育専門部会主査代理（平成26年3月～平成27年2月）
- 文部科学省「道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」副座長（平成27年6月～平成28年8月）
- 中央教育審議会初等中等教育分科会専門委員（平成28年1月～平成29年2月）
- 「板書&指導案でよくわかる！ 中学校の道徳授業 35時間のすべて」編著（明治図書 平成31年）
- 「中学校 新学習指導要領 道徳の授業づくり」共著（明治図書 平成30年）
- 「アクティブ・ラーニングを位置づけた中学校『特別の教科 道徳』の授業プラン」編著（明治図書 平成29年）
- 「中学校 新学習指導要領の展開 特別の教科 道徳編」編著（明治図書 平成28年）
- 「『私たちの道徳』完全活用ガイドブック 中学校編」編著（明治図書 平成27年）
- 「高等学校 新教育課程の授業と評価公民」編著（学事出版 平成17年）
- 「教師の授業力アップのための研究授業 中学校道徳」編著（明治図書 平成17年）
- 日本道徳教育学会（理事・副会長）
- 日本道徳教育方法学会（理事）

キーワード

特別の教科 道徳、学習指導と評価、主体的・対話的で深い学び

研究テーマ Research theme

「特別の教科 道徳」における
学習指導と評価の在り方

概要 Overview

「特別の教科 道徳」（道徳科）における学習指導とこれまでの「道徳の時間」における学習指導との異同を明確にしつつ、新たな「道徳科」に求められている多様な学習指導及び評価の在り方について、改訂された学習指導要領において重要となる「アクティブ・ラーニング」の視点を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現という観点から論究します。

応用分野 Application areas

学校・家庭・地域連携による人づくり
 「自殺防止」「いのち」に関する実践研究

共同研究等へのニーズ Need for joint research

教育委員会や教育研究会、学校現場等との「質の高い授業」への改善に向けた実践研究

グリーンイノベーション

ライフイノベーション

情報通信技術

数物系科学

社会科学

人文学